

[学習会]

新設大型風力発電施設について考える

石狩湾新港工業団地に建つ7基の巨大風車の健康・景観・野鳥等への影響について考えます。

高さ140mの大型風車（定格出力3200kW、GE社製）は、単なる高層建築物ではありません。直径103mのブレードの先端は時速300kmを越えるスピードで回転し、空気を切り裂き音（超低周波音・低周波音を含む）を発生する産業機械です。工業地域の騒音基準はかなりゆるいものになっており、風車特有の超低周波音・低周波音を考慮したものにはなっていません。既存事業所に近接しており、仰ぎ見る風車の姿が人々へ与える心理的影響も大変気になるところです。海岸防風林に生息する野鳥や、渡りのコースとして利用する野鳥への影響も懸念されます。



石狩湾岸に建設されている風車群-手稲山からの眺望

- ◆ **時間** 2018年11月25日（日）
13時30分～15時30分
- ◆ **場所** 石狩市花川北コミュニティセンター
（石狩市花川北3-2 ☎0133-74-6525）
- ◆ **講師** 安田秀子氏 石狩湾岸の風力発電を考える石狩市民の会代表
- ◆ **費用** 300円（資料代ほか）

主催・問い合わせ：石狩湾岸の風力発電を考える石狩市民の会
安田（090-6211-1602）

<http://windturbine.lbcc-alumni.jp/index.shtml>